

外来カミキリムシにご注意ください

令和3年、福島県内において外来生物である、「ツヤハダゴマダラカミキリ」及び「サビイロクワカミキリ」が確認されました。

幼虫が内部を食い荒らすことにより木が枯死してしまい、倒木等を引き起こす可能性がありますので、注意が必要です。（成虫は夏～秋頃に発生する）

サビイロクワカミキリ



成虫（メス）の写真

- 原産国：中国・モンゴル・台湾など
- 大きさ：約25～40mm
- 特徴：サビ色の体に白い斑点
夜行性で昼間はあまり見られない
- 県内で確認されている食樹
・イヌエンジュ ・エンジュ

■被害木の状況

- 産卵痕（図1）
- フラス※（図2）
- 脱出孔（図3）が見られる。
- ※フラス：幼虫が糞と木くずを一緒に排出したもの



図1



図2



図3

ツヤハダゴマダラカミキリ



成虫（オス）の写真

- 原産国：中国・朝鮮半島など
- 大きさ：約20～35mm
- 特徴：在来のゴマダラカミキリに似るため注意が必要
- 県内で確認されている主な食樹
・トチノキ ・カツラ など

■被害木の状況

- 産卵痕（図1）
- 脱出孔（図2）が見られる。
- ※フラスはあまりみられない



図1

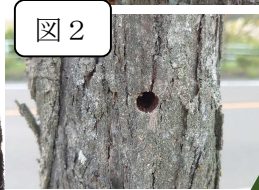


図2

外来カミキリムシを見つけたら

- ・福島県自然保護課までご連絡ください。（☎024-521-7210 ✉yasei@pref.fukushima.lg.jp）
- ・発見日時、発見場所、個体の数、被害を受けている木の樹種や本数等をお知らせください。
- ・可能であれば、写真を撮影しご提供ください。
- ・成虫を捕まえた場合は、捕殺にご協力ください。

～ご協力をお願いします～